

本校の教育目標

幼・小・中・高の各部の独自性と一貫性を柱とし、幼児児童生徒一人一人の特性と能力に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として、力強く生き抜く人間を育成する。

校訓 **たくましく ゆたかに すこやかに**

本校がめざす「子ども像」

部	各部でめざす「子ども像」
高等部	自分らしく生きる子
中学部	自分の力を伸ばす子
小学部	いきいきと学ぶ子
幼稚部	なかよく遊ぶ子



**本年度のスローガン
「一人一人が輝く学校」**

重点目標② 安全で安心な学校づくり

～一人一人を大切に作る学校～

- ・個性を尊重した高い人権意識の下、教職員の連携と専門性を生かした教育環境を提供する。
- 教職員の人権意識を高める研修の実施
- 開かれた学校の推進（授業参観・授業公開、関係機関・家庭との連携、情報発信の充実）
- 環境整備（防犯、防災、衛生管理、整理整頓）
- 学校危機管理マニュアル、緊急時対応の随時見直し
- 実際の災害や緊急事態を想定した訓練の実施

重点目標① 指導・支援の充実

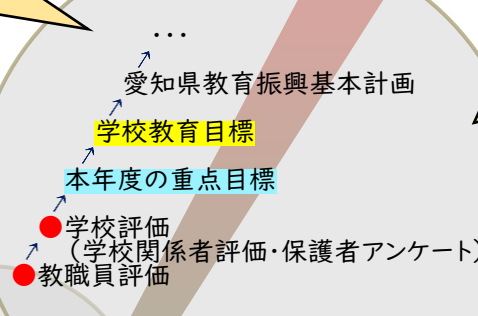
～楽しい（できた、分かった）学校～

- ・「主体的・対話的・個別最適な学び」を推進し、楽しく学べる学習環境を整える。
- 的確な実態把握と適切な課題設定及び学習目標の教職員・保護者との情報共有
- 個別的教育支援計画・指導計画を最大限に活用した指導・支援の充実
- 各部のつながりを意識した学習計画の促進
- ICT機器（タブレット等）のより積極的な活用
- 特別支援教育のセンター的役割の強化（地域に積極的に情報発信）
- 医療的ケアの通学・校外学習付添支援事業の促進
- 卒業後に適切な福祉サービスが受けられるようにするための情報提供
- キャリア教育の推進
- 交流及び共同学習の推進（直接・間接・遠隔）
- 学校内外資源の活用（教職員の特性、ICT、外部講師）
- 研修の奨励（多様な研修の方法、履歴の記録）

重点目標③ 教職員の在校時間等の縮減

～教職員が元気で質の高い学校～

- ・全ての教職員が在校時間等を月45時間、年間360時間以内とし、ワークライフバランスを保ちながら働きがいのある職場づくりを目指す。
- 施錠時刻の徹底（19:00、毎週金曜定時退校日17:30）
- 業務の精選（子どもを中心とした考えのもと、必要・不要の見極めと大胆な業務削減）
- 職種や分掌等を超えた横断的な連携による業務改善（一宮書式集・一特職員必携、保護者目線に立った依頼文書の提供など）
- ICTの利活用による業務の効率化（Teamsの有効活用、校務支援システム（SE）の一部運用）
- 教材等の共有化と有効活用
- 長期休業の有効活用（業務シェアリング）
- 校務補助員への積極的な業務切出し



家庭

学校

関係機関



R8年度 一宮特別支援学校の現状 (R8.4.1現在)

※（ ）内は訪問人数、外数

在籍数	幼4	幼5	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	訪問	合計
計	7	0	5(1)	8	9(1)	11	15	14	10(1)	7(2)	10(1)	13(1)	14	12	7	142
学級数	3					22				9			13		4	51
教職員数	教頭・教諭106名															106

※別に養護教諭2、実習教員2、寄宿舎指導員8、栄養教諭1、看護師(常勤2、非勤9)等